

ほうでえ～

ありや～のう

周防大島町の話題



▲椎木町長と記念品の交換を行ったSTU48の石田千穂さん⑤と石田みなみさん⑥

※「C to Seaプロジェクト」

子どもや若者をはじめとして、より多くの人に海や船の楽しさを知ってもらうため、マリンレジャー体験等の海に触れる機会の増加や効果的な情報発信等を推進する官民一体の取組です。

STU48が表敬訪問

2月20日、「がんばっちよるけー!周防大島・女子旅PRプロジェクト」の一貫として、「C to Seaプロジェクト※」アンバサダーに任命されているSTU48の石田千穂さんと石田みなみさんが椎木町長を表敬訪問しました。

STU48のお二人は、「周防大島の魅力をたくさん伝えていきたい」「SNSを使って発信して、たくさんの方に来てもらえるように協力できたら」と語られました。

「がんばっちよるけー!周防大島・女子旅PRプロジェクト」とは、大島大橋損傷事故により生活・観光に大きな影響を受けた周防大島町を、様々なツールを活用してその魅力を発信し、誘客を促進することによって復興を支援する取組で、STU48の「旅」をテーマにしたユニットメンバーが島内を見てまわり、SNSや動画配信番組で紹介されます。

2分の1成人式

2月18日、大島文化センターにおいて、2分の1成人式が行われました。

これは、10歳の節目を迎えた町内の小学4年生を対象に行っているもので、子どもたちは、将来の夢やこれからの目標について一人一人が発表し、その夢や目標に向かって取り組むことや努力することなども力強く発表しました。

また、「私のふるさと」と題して、宮本常一記念館の高木泰伸学芸員が講演を行い、周防大島出身の著名人のふるさと周防大島へ抱いていた想いなどについて話されました。



▶それぞれの将来の夢や目標を力強く発表されました

島スクエアフォーラム

2月10日、島スクエアフォーラム2019が大島文化センターにて開催されました。

島スクエアは、大島商船高等専門学校が主催し、地域資源を活用した起業家の育成を通して、地域活性化を目指す取り組みを進めており、この日は、事業報告、修了生の事業プランの発表、実験販売や「人口増が続く東川町の取り組み」と題し、北海道東川町の取り組みについての基調講演などが行われました。

また、「海と大地の共創〜人口増につなぐ地域資源の活用と起業〜」と題して、パネルディスカッションも行われ、子育ての面や教育の面、起業家からの視点などから、活発な意見交換が行われました。



▲パネルディスカッションの様子